

美々空港線の 利便性向上について

美々空港線 路線概要



美々空港線 新設路線



開設日
令和8年4月1日



運行区間
千歳駅前 ⇄ 空港 ⇄ 科技大 ⇄ ラピダス



主な停留所
千歳駅前・市役所・新千歳空港・科技大・ラピダス



1日の便数(片道)
【授業期】:46便 【休学期】:25便

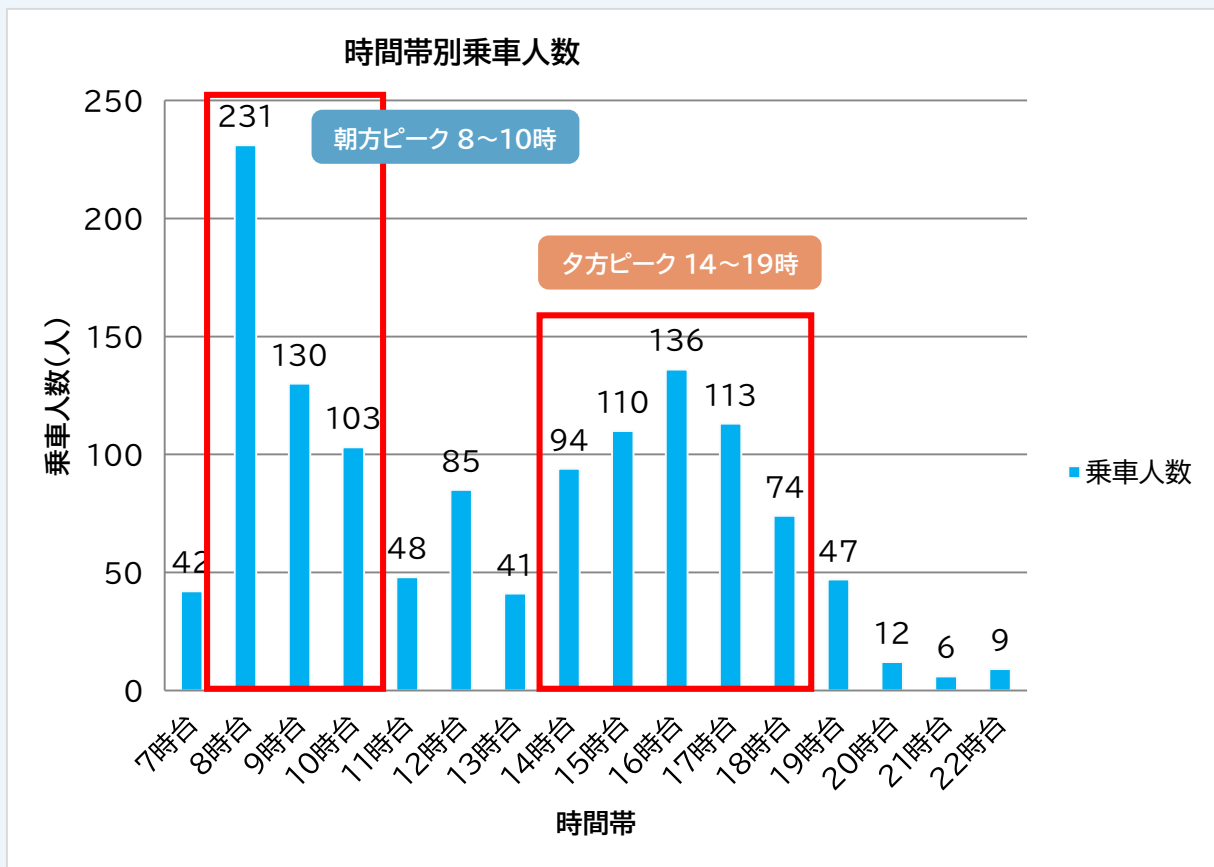


公立千歳科学技術大学やラピダスの通学・通勤需要を受けてバス路線を新設

路線図



時間帯別利用者数グラフ



利用傾向まとめ

朝(8~10時)・夕方(14~19時)に利用が集中

科技大の学生利用が中心

ラピダス関係による需要も確認

今後更なる需要増を見込む



増便・ダイヤ改正の必要性が高まっている

運行実績から見えてきた課題

朝夕の混雑

運行課題

- 朝夕のラッシュ帯は、かなり混雑(バス車内・乗り場共通)している。
- 増便が慢性化している。
- 千歳駅のバス専用道路が混雑している。

→ 需要に応じた便数の確保が急務

待ち時間の長さ

ダイヤ課題

- 「千歳駅での待ち時間が長い」との声が多い
- 乗換え客の待機スペース不足も発生
- 次便までの待ち時間が長い時間帯がある

→ 増便・ダイヤ改正が必要

南千歳駅ニーズの高さ

ルート課題

- 「南千歳駅で乗降したい」という声が多い。
- JR接続需要が想定以上に大きい。

→ 運行ルートの見直しが必要

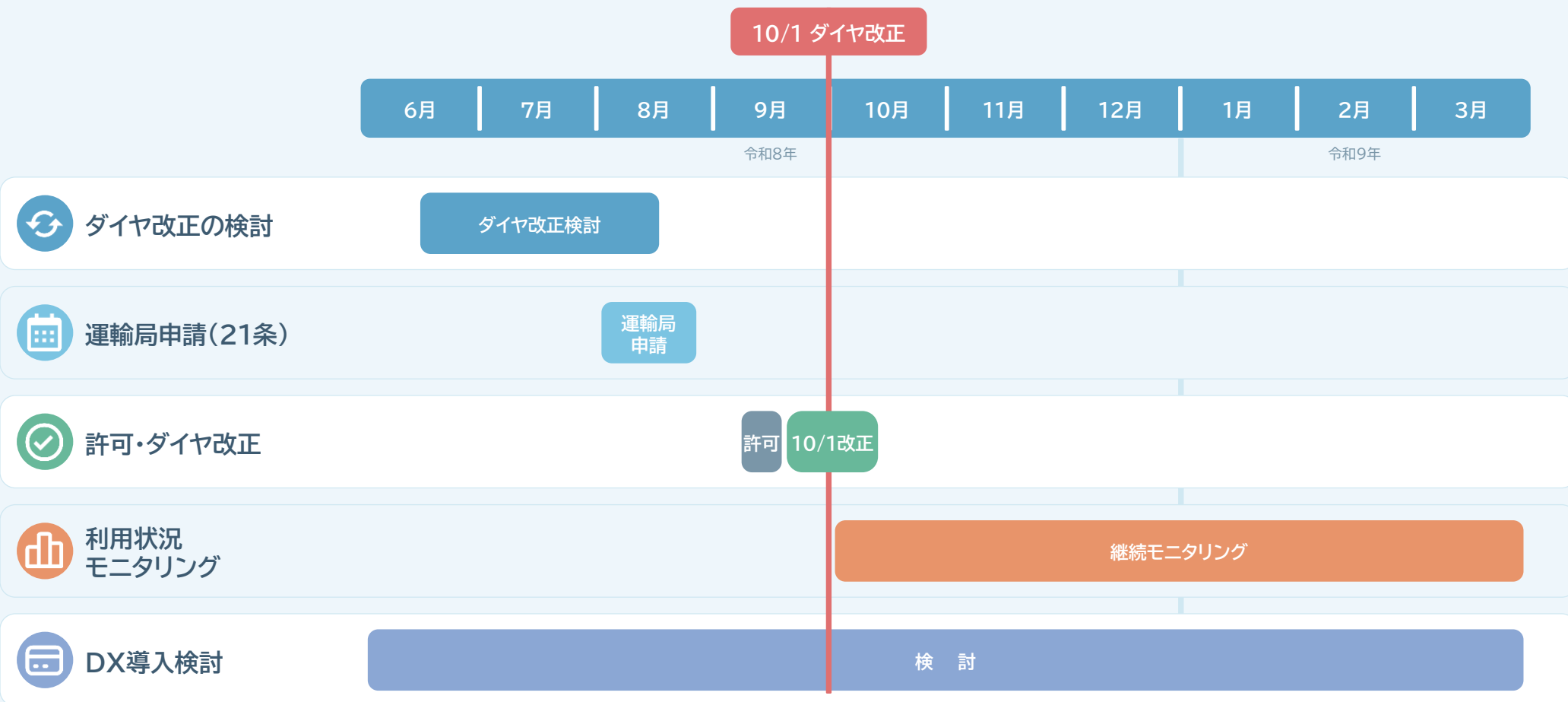
キャッシュレス決済への要望

DX課題

- 「タッチ決済・キャッシュレス決済」のニーズが多い
- 現在は現金のみ対応で不便との声が多数

→ キャッシュレス・アプリ導入の検討が必要

スケジュール・今後の方針



今後の方針

利用状況及び利用者の声を踏まえ、**ダイヤ・ルート**の改正と利便性向上に向けた**DX導入**の検討を継続的に進め、美々空港線の更なる利用促進と持続可能な路線運営の確立を目指す。